

# 支笏洞爺ニセコルート 《ウエルカム北海道エリア》

SW-1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『千歳ウエルカム花ロードver.14』

- 【概要】** 千歳ウエルカム花ロードは、年間約2000万人が利用する北海道の空の玄関口新千歳空港の町として、「ここからはじまる北海道～みんなでつなぐ花の道～」をテーマに、美しい景観づくりを通じて子供達の『おもてなしの心』を育成する活動として、(社)千歳青年会議所が中心となり平成15年に始まった。小学校、企業、ボランティア、花植え団体、航空自衛隊千歳基地、行政機関へと協力連携の輪が広がり、14年間に、活動に参加した人は約7千人、合計30万株の花を植えてきました。14年目を迎えた今年は、5月中旬に札幌駅前通地下歩行空間で活動紹介PR展示、5月24日(火)に千歳市立緑小学校、千歳市立千歳小学校で花ロード事前特別授業を行った後、約540人が参加し、空港周辺の沿道約7.1kmに約3万3千株の花を植え、おもてなしの花咲く道をつなげました。7月・8月には、実行委員会とボランティアなどによる花壇の除草を実施した。
- 【日時】** 札幌駅前通地下歩行空間PR展示：平成28年5月16日～5月23日  
花ロード特別授業(緑小学校、千歳小学校)・花植え：5月24日  
除草：7月12日、8月24日
- 【場所】** 千歳市(JR南千歳駅前国道36号周辺、JR千歳駅前、道道千歳インター線、道道新千歳空港インター線、道央道千歳IC料金所周辺、新千歳空港構内道路ほか)
- 【主催】** 千歳ウエルカム花ロード実行委員会 **【参加人数】** 植栽540名、授業126名



# 支笏洞爺ニセコルート 《ウエルカム北海道エリア》

SW-2

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『453・530 (ヨゴサン・ゴミゼロ) キャンペーンin支笏湖』

**【概要】** 453 (ヨゴサン) キャンペーンは、春の5月30日 (ゴミゼロ) と秋の9月30日に、支笏湖温泉から丸山分岐までの国道453号のゴミ拾いを行います。早朝の支笏湖で綺麗な空気を吸いながらの清掃活動です。シーニックバイウェイ試行当初からの継続活動で13年目を迎えました。活動当初は、50名程の参加者であったのが、企業や団体等のボランティア参加が少しずつ増え、今年の9月で16団体、総勢100名を越える参加となりました。

また、年々活動に参加いただける団体が増え、人数も増えていることから活動範囲を延長して3.0kmを実施しました。

**【日時】** 平成28年5月30日、9月30日 午前6時30分～7時30分

**【場所】** (集合) 千歳市支笏湖温泉街 支笏湖駐車場 (バスターミナル) 前  
(実施場所) 国道453号支笏湖温泉～苫小牧市丸山分岐

**【主催】** NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ

**【協力】** 支笏湖自治振興会・支笏湖旅館組合・支笏湖商工会・支笏湖老人クラブ・支笏湖恵岳会・支笏湖小学校PTA自然公園財団支笏湖支部・千歳市・札幌開発建設部

**【参加人数】** 春：120名、秋：120名



# 支笏洞爺ニセコルート

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

《洞爺湖エリア》

ST-1

MOVE洞爺湖2016

- 【概要】 北海道のラジオ局AIR-Gと連携で開催するボランティア活動。世界ジオパークに認定された洞爺湖周辺の環境保全の活動として、湖畔の彫刻の清掃、花壇整備などを実施するほか、参加者全員でフォークダンス「マイムマイム」を踊った。
- 【日時】 平成28年4月29日（金）9:30～
- 【場所】 洞爺湖町洞爺湖温泉
- 【主催】 一般社団法人洞爺湖温泉観光協会／AIR-G'
- 【協力】 室蘭開発建設部
- 【参加人数】 250名



洞爺湖畔 花壇造成の様子



とうや湖ぐるっと彫刻公園  
花壇造成の様子



花植え参加者全員によるマイムマイム  
(洞爺湖文化センター)

# 支笏洞爺ニセコルート

《洞爺湖エリア》

ST-2

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

1008 453(とうや よごさん)キャンペーン2016

【概要】従来の国道453号沿線の清掃活動を拡大し、洞爺湖一周の道道・国道の号数の和が1008となり「とおや」の語呂が合うことから、沿線の景観を守り美しいドライブルートを創出する一環として洞爺湖での清掃活動を実施した。今年は、参加人数も過去最高の104名となり、6コースと広い範囲で展開。回収ゴミの量は洞爺湖町側で1トン、壮瞥町側で約2トン、伊達市で約1トン、合計5トンのゴミを回収した。また、今回から、伊藤園様（北海道遺産協議会）も新たに参加し活動の発展につながった。

【日時】平成28年8月27日（土）

【場所】洞爺湖1周

(国道230号・国道453号・道道578号・道道66号・道道132号・道道2号)

【主催】支笏洞爺ニセコルート 代表者会議（洞爺湖エリア）

【参加人数】104名



伊藤園様（北海道遺産協議会）も新たに参加



参加者の様子



ゴミ拾い終了時の様子

## 道路周辺等の雑木駆除を生かした観光振興実験

【概要】シーニックバイウェイによる沿道の景観清掃活動の中で目に付いた道路の景観を阻害する胡桃の木等を撤去する活動を兼ねて、友の会では自発的に遊歩道に杖を設置した。実施内容としては、①道路の景観を向上させ、②枝打ちした胡桃の枝を加工して杖にし、③剥いだ樹皮を乾燥加工し籠編み材にし、④会員に籠編み講習会を通じ趣味を広げ、⑤道の駅等で販売し観光協会への売上げと会の売上げとし、⑥得た資金で道路景観保全活動等に貢献するエコサイクル事業を展開した。

【日時】平成28年度

【場所】洞爺湖周辺(国道453号沿い)

【主催】NPO法人有珠山周辺ジオパーク友の会

【協力】室蘭開発建設部

【参加人数】30名



国道沿いのクルミの枝打ちの様子



手工芸部会の籠編み講習会を開催



樹皮工芸品の販売（道の駅そうべつ情報館アイ）

# 支笏洞爺ニセコルート

《ニセコ羊蹄エリア》

SN-1

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

喜茂別町市民公園及び国道230号沿線の花壇づくり

【概要】 花を通じて人々の気持ちを豊かにとの願いを込めて全国各地で行われている花いっぱい運動。喜茂別町でも毎年行われており、5月後半頃～6月中旬頃までに町内各所で花が植えられ、町中が花でいっぱい彩られる。今年は、30名ほどの町民が集まり、市民公園の立体花壇や役場前道路花壇、国道230号沿線花壇などの花植えが行われた。郷の駅前の花壇では、開町100周年記念ということで、「100th KIMOBETSU」の花文字に挑戦した。

【日時】 平成28年6月5日（日）

【場所】 喜茂別町市民公園、役場前道路花壇、国道230号沿線花壇、郷の駅前花壇ほか

【主催】 一般社団法人きもべつ観光協会／NPO法人きもべつWAO

【参加人数】 約30名



市民公園立体花壇造成の様子



郷の駅前花壇の様子



花植え参加者の集合写真  
(喜茂別町郷の駅ホッときもべつ)

# 支笏洞爺ニセコルート

《ニセコ羊蹄エリア》

SN-2

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

## 3町連携による尻別川・羊蹄山周辺合同維持管理（草刈等）

【概要】今年度で5回目の取組み。従来、各団体が個別に行ってきた清掃活動を拡大し、羊蹄山麓周辺3町村（京極町・喜茂別町・倶知安町）協力のもと、尻別川や羊蹄山という資源を守り、美しいドライブルートを創出する一環として、合同維持管理作業を実施した。団体の抱える高齢化等の問題に対し地域一体で取組を進めたことが成果として残る一方、実施に係る費用の捻出方法については今後の課題である。

【日時】平成28年7月19日（火）

【場所】京極町、倶知安町、喜茂別町のビューポイントパーキング周辺（計3か所）

【主催】支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表者会議

NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会／京極町景観を考える会／NPO法人きもべつWAO

【参加人数】約30名



京極町更進地区の様子



喜茂別町相川地区の様子



参加者全員の集合写真  
（倶知安町八幡地区）

# 支笏洞爺ニセコルート 《ルート全体》

STN

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

活動名：シーニックナイト2017

【内 容】シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルートをキャンドルの灯りにつなぐ、”シーニックナイト2017”。各エリア、年々会場毎に思考を凝らしたオブジェやスノーキャンドルに加え、各種地域イベントとの連携など幅広い取り組みとして地域内に定着してきている。

【日 時】毎年1月下旬から2月下旬まで

【場 所】支笏洞爺ニセコルート(ウェルカムエリア・洞爺湖エリア・ニセコ羊蹄エリア内)

【主 催】シーニックナイト実行委員会

【共 催】支笏洞爺ニセコルート代表者会議



支笏湖温泉(千歳市)



道の駅そうべつ情報館(壮瞥町)



北海道ワイン工場(小樽市)



綺羅乃湯(ニセコ町)



道の駅花ロードえにわ(恵庭市)



道の駅フォーレスト276(伊達市)



郷の駅ホッとときもべつ(喜茂別町)



倶知安東小学校(倶知安町)



# 大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：沿道の清掃活動ゴミゼロキャンペーンの実施

【概要】旭川市西神楽と上富良野町にて、国道沿道の清掃活動「ゴミゼロキャンペーン」を実施した。旭川市西神楽では、旭川市聖和小学校とも連携し、小学生が参加するとともに、小学校周辺のゴミ拾いも実施した。上富良野町では例年通り、上富良野町や商工会、地域団体、住民等、多数が参加し、国道237号をはじめとした、町内のゴミ拾いを実施した。

【日時】上富良野：4/24 10:00～12:00 上富良野：4/25 9:00～11:00

【場所】旭川市西神楽、上富良野町

【主催】大雪・富良野ルート運営代表者会議

【参加人数】200名（主催者20名、一般参加180名）



上富良野町 ゴミゼロ



西神楽 ゴミゼロ



# 大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト  
～上川から十勝までの広域サインツリー植樹プロジェクト～

【概要】大雪・富良野ルートと十勝シーニックバイウェイ（全3ルート）、ガーデン街道協議会が連携して取り組んでいる「人と未来を繋ぐ100年の木プロジェクト」について、植樹した木の維持管理を実施した。平成28年9月20日に、過去に植樹した全15箇所、55本の現地確認等を行った。維持管理の状況や今後の活動を検討するために、100プロの全体会議を平成28年11月10日に開催した。

【日時】現地確認：9/20 全体会議：11/10

【場所】大雪・富良野ルート

【主催】北海道の美しい景観を育てる会

【参加人数】全体会議 約30名、植樹 約20名



現地確認



全田会議

# 大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：3ルート連携フォトコンテストの開催

【概要】平成25年から道北のシーニックバイウェイ3ルートが連携し、ルート内の美しい風景や地域資源を収集することを目的に、フォトコンテストを開催。平成28年度は応募者数41名/応募作品数213点の応募があった。

【募集期間】7月1日～9月15日

【日時】6月17日検討会 11月7日審査会

【場所】大雪・富良野ルート、宗谷シーニックバイウェイ、萌える天北オロロンルート

【主催】シーニックバイウェイ3ルート連携フォトコンテスト実行委員会

【参加人数】応募者数41名/応募作品数213点



グランプリ賞  
妖精舞い降りる  
齊藤恵一



大雪・富良野ルート賞  
「霧氷舞」  
佐々木郁太郎

# 大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：大雪ぐるっとサイクリング事業

【概要】 大雪山連峰を周遊する大雪ぐるっとサイクリングの取組みについて、平成26年から実施しており、平成26年はサイクルコースの設定、平成27年はマップの作成、受入環境の検討、今年度はウェブサイトの作成等を行った。事業の推進にあたっては、北海道サイクルフロンティアの石塚氏に専門家として、助言をいただきながら事業を推進している。

【日時】 通年

【場所】 大雪山周辺地域（主に、上富良野町、上士幌町、上川町等）

【主催】 大雪・富良野ルート、上士幌町や上川町の観光施設や自転車関係者



上：第一回検討会の様子  
左：サイクルコース調査の様子



# 東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：「シーニックマルシェ」in網走、斜里、清里

【概要】シーニックデッキの周知徹底のため、通常設置している数箇所から人の多く集まる箇所（道の駅3箇所）にデッキを集約し、『シーニック・マルシェ』を開催。地元でとれた野菜や果物、地域特産品などの販売とともに、東オホーツクシーニックバイウェイ、オホーツクEV推進協議会の取り組みを紹介するパネル展示を行った。

【日時・場所】

- ・9月10日(土)：道の駅流水街道網走 参加者：300人
- ・9月17日(日)：道の駅うとろ・シリエトク 参加者：430人
- ・9月11日(日)：道の駅パパスランドさつる 参加者：350人

【主催】東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【参加団体】網走市観光協会、小清水町観光協会、東藻琴観光協会、清里町商工会、きよさと観光協会、上斜里フラワーロード推進協議会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会、知床斜里町観光協会



左より網走、清里、ウトロ



(パネル展示の様子)→



# 東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：『』

- 【概要】 東オホーツクの魅力を多くの方に広めるため「美しい景観・美味しい店・癒しの温泉」情報を発信し、東オホーツクのファンづくりを目指すマップの更新（最新情報への更新）を行った。
- 【内容】 東オホーツク地域の広域的な情報をマップで紹介  
（各エリアのシーニックポイント・情報拠点・景観の良いお店・シーニックデッキ、お勧めのお店、天然温泉の紹介）
- 【配布時期】 5月
- 【配布部数】 10,000部
- 【配布場所】 情報拠点、道の駅、観光案内所など



おすすめ温泉



おすすめの店



地図面

# 東オホーツクシーニックバイウェイ

例) TOKACHI Scenic Byway

活動名：ガードレールの雪かきボランティア

- 【概要】 ルート内の回遊性向上、ルートの認知度向上の目的から、ルート内7道の駅を対象としたスタンプラリーを実施した。アンケート（1,100人）結果からは今まで知らなかった地域情報を得ることができた、集めるのに丁度よい数等の好評の感触を得た。
- 【期間】 6月1日～10月30日
- 【実施場所】 東オホーツクシーニックバイウェイエリア内自治体7道の駅
- 【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議
- 【協力】：斜里建設（株）、（株）間組、（株）西村組、（株）そうけん、勇・西村・堀松JV
- 【参加人数】：1,100人（内当選者18人）
- 【商品】：清涼飲料水1箱×2名、7道の駅特産品詰め合わせ×2名、7道の駅それぞれの特産品×14名



表面



裏面

# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：礼文島リボンプロジェクト

【概要】 礼文町の希少な自然環境の保全を主な目的として、「礼文島リボンプロジェクト」を平成23年度から行っている。ピンバッチを販売額の一部が、礼文島の自然活動に活用できる基金として積み立てられる取り組みで、27年度末までに約2,370万円が基金として積み立てられ、これまでに680万円が環境保護や利活用の活動に支出されている。

<http://www.town.rebun.hokkaido.jp/hotnews/detail/00000202.html>

「ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2011」ルート審査委員特別賞受賞

【日時】 通年で販売

【場所】 礼文島（観光案内所などで販売）

【主催】 礼文島観光協会



フェリーターミナル内でルート情報と共に告知





# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：利尻山コマドリプロジェクト



←利尻山コマドリプロジェクト  
ポスター

↓応援ピンバッジ



【概要】近年、利尻山の登山者の増加や降雨の影響などで登山道の荒廃が目立ち始めており、その問題の対策として、平成26年より、山に棲む鳥として象徴的なコマドリがデザインされた応援ピンバッジ（1個1,000円）を島内各所で販売することで、購入者自身に山の保全意識を啓発するとともに、登山道の補修や登山マナーの普及などの活動財源確保に取り組んでいる。

【日時】通年で販売  
【場所】利尻島（観光案内所などで販売）  
【主催】利尻山登山道等維持管理連絡協議会

# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：稚内空港線植樹帯維持活動

- 【概要】 稚内空港線（稚内空港前）の植樹帯を除草し、花植えを行った。観光客のお迎えとして一役を担った。植樹帯の区画を決め、協賛団体にも年間を通して維持管理をお願いしている。また、子供たちや高齢者、身障者の方々の参加も増えてきた。
- 【日時】 平成28年6月4日（土） 10:00～
- 【場所】 道道稚内空港線（稚内空港前）
- 【主催】 フラワーマスター稚内
- 【協力協賛】 宗谷総合振興局建設管理部、宗谷建設青年会、稚内開発建設部、稚内市役所、中田組、北武建設、高木組、稚内空港事務所、稚内観光協会、稚内ホテル旅館業組合、宗谷路の会、稚内測量協会、稚内のみなとを考える女性ネットワーク、一般市民ほか
- 【参加人数】 150名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：かまくらで遊ぼう

- 【概要】 冬レンジャーの催しとして、高さ2畳、2畳ほどの広さのかまくらを2基作り、その中で親子が豚汁を食べたり、雪の上で玉入れや雪中綱引きなどゲームを行った。
- 【日時】 平成28年2月7日（日）11:00～14:00
- 【場所】 稚内副港市場・駐車場
- 【主催】 稚内のみなとを考える女性ネットワーク
- 【協力協賛】 稚内開発建設部、稚内市、稚内副港サービス、他
- 【参加人数】 約380名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：彩北わっきゃナイト2017

- 【概要】今年で14年目となる冬のイベント。北の防波堤ドームを約600個のキャンドルで彩り、稚内青年会議所などで組織する実行委員会主催の『わっかない氷雪の広場』との同一会場で開催し、稚内の冬を演出した。
- 【日時】平成29年2月11日（土） 13:00～21:00
- 【場所】稚内港北防波堤ドーム
- 【主催】稚内みなとまちづくり懇談会
- 【協力協賛】稚内市、宗谷総合振興局、稚内開発建設部、稚内異業種交流会、稚内観光協会、稚内北星学園大学、稚内大谷高校、市内町内会、大黒地区発展協議会、まちづくり稚内、中央商店街、稚内青年会議所、北武建設、中田組など
- 【参加人数】1,000名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：ルート内情報発信事業

- 【概要】 稚内市・利尻町・利尻富士町・礼文町・豊富町・猿払村・浜頓別町の観光協会・観光案内所が連携し、花などの見ごろからウニなど食など、「今しかない」情報を週1回発信している。本事業はルート発足当初から継続的に実施しており、過去にはベスト・プロジェクト審査委員特別賞の受賞し、近年は、SNS（twitter、Facebook）も活用し、情報発信を行っている。
- 【日時】 平成28年5月27日（金）～9月23日（金）の毎週金曜日・週一回の発信
- 【場所】 ルート内各観光協会から情報をメールまたはFAX→集約→関係者・団体へ
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイ情報・観光分科会  
稚内・利尻富士町・利尻町・礼文町・豊富町・猿払村・浜頓別町 各観光協会

毎週金曜更新！ 週刊 宗谷シーニックバイウェイ 夏のルート内情報 平成28年9月9日号

### 礼文島

情報提供：礼文島観光協会 TEL:0132-91-2815

- 新島産品コーナー
- マリンリゾート
- おみやげ店
- おみやげ店
- おみやげ店

### 稚内市

情報提供：稚内観光協会 TEL:0112-24-1216

- おみやげ店
- おみやげ店
- おみやげ店
- おみやげ店

### 豊富町

情報提供：豊富町観光協会 TEL:0132-92-1728

- おみやげ店
- おみやげ店
- おみやげ店

### 猿払村

情報提供：猿払村観光協会 TEL:0132-22-2211

- おみやげ店
- おみやげ店

### 浜頓別町

情報提供：浜頓別町観光協会 TEL:0133-2-2816

- おみやげ店
- おみやげ店

### ただいま見頃のお花たち

ノコギリソウ	ツツガネニンジン
キク科	キキョウ科
エゾゴマナ	
キク科	

※花の見頃は地域により異なります。お問い合わせは各観光協会まで。 ※終了しました

この情報はFacebookでもご覧いただけます  
www.facebook.com/soyabw.routeinfo

次の更新は  
9月16日です

毎週金曜更新！ 週刊 宗谷シーニックバイウェイ 夏のルート内情報 平成28年6月3日号

### 礼文島

情報提供：礼文島観光協会 TEL:0132-91-2815

- おみやげ店
- おみやげ店
- おみやげ店

### 稚内市

情報提供：稚内観光協会 TEL:0112-24-1216

- おみやげ店
- おみやげ店
- おみやげ店

### 利尻島

情報提供：利尻島観光協会 TEL:0132-92-1728

- おみやげ店
- おみやげ店

### 豊富町

情報提供：豊富町観光協会 TEL:0132-92-1728

- おみやげ店
- おみやげ店

### ただいま見頃のお花たち

レアンアツソリソウ	ワタスゲ
ラン科	カヤツグサ科
ハクサンチドリ	シヨウジョウバカマ
ラン科	ユリ科

※花の見頃は地域により異なります。お問い合わせは各観光協会まで。 ※終了しました

この情報はFacebookでもご覧いただけます  
www.facebook.com/soyabw.routeinfo

次の更新は  
6月10日です

# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：観光関係の若手による「しゃべり場」の開催

【概要】 宗谷地域に観光に関わる若手が集まり、地域のこれからや観光のあり方について自由に意見を交わす「しゃべり場」を豊富町で開催した。湯治で新たな脚光を浴びている豊富町関係者を交え、ワークショップを開催した。

【日時】 平成28年11月9日

【場所】 豊富町 ニュー温泉閣ホテル

【主催】 宗谷シーニックバイウェイルート代表者会議・豊富町

【参加人数】 26名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版エコ・モビリティ関連事業  
「宗谷版エコ・モビリティ検討会の開催」

- 【概要】 自転車やカヌー、歩きと公共交通を組合わせて周遊観光を楽しむ、エコ・モビリティについて、宗谷シーニック関係者の検討会を開催した。宗谷シーニックでは、モデル地区を利尻島としており、各種取組みに向けた検討等を行った。
- 【日時】 平成28年6月17日 稚内サンホテル  
平成28年7月26日 利尻富士町役場  
平成29年3月15日 利尻富士町役場
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版エコ・モビリティ関連事業  
「てっぺんツアーの実施」

- 【概要】 天塩川流域ミュージアムパークウェイと連携し、旭川空港から宗谷岬までのてっぺんロングライドツアーを実施した。全国からモニター10名を集め、うち台湾からは4名のモニターが参加し、2泊3日の行程で行った。
- 【日時】 平成28年10月8日～10日
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・天塩川流域ミュージアムパークウェイ・道北版エコ・モビリティ研究会、一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター
- 【参加人数】 ●モニター 10名／●スタッフ 10名





# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版エコ・モビリティ関連事業  
「利尻島での自転車・バスの周遊観光実験」

【概要】 跡見学園女子大学と連携し、レンタサイクルと路線バスを組み合わせ、利尻島を1周する観光について実証実験を行った。跡見学園の学生10名がモニターとなり、実証実験を行い、実験の様子はNHKの取材が入り、全道版のニュースで放映された。

【日時】 平成28年9月27日

【場所】 利尻島

【実施主体】 利尻富士町・利尻町・北海道運輸局・宗谷シーニックバイウェイ・北海道エコ・モビリティ研究会、一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター

【参加人数】 ●モニター 10名／●スタッフ 10名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版スイス・モビリティ関連事業  
「宮内忍氏を招聘した勉強会の開催」

- 【概要】 自転車の専門誌「サイクルスポーツ」の元編集長の宮内氏を招き、サイクルツーリズムの勉強会を開催した。勉強会には、シーニック関係者の他、天塩川流域ミュージアムパークウェイ関係者、宗谷総合振興局など多数の方が参加し、道北におけるサイクルツーリズムの可能性について勉強した。
- 【日時】 平成28年10月11日
- 【場所】 キタカラ 会議室
- 【主催】 天塩川流域ミュージアムパークウェイ、北海道エコ・モビリティ研究会、一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター、一般社団法人北海道開発技術センター
- 【参加人数】 20名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版スイス・モビリティ関連事業  
「家田先生・高橋先生の試走」

- 【概要】日本国内にてサイクリストの聖地と呼ばれる「しまなみ海道」に、天塩川流域ミュージアムパークウェイの関係者、北海道版スイス・モビリティ研究会のメンバーとともに視察を行い、サイクルツーリズム先進地の受入環境や課題について調査を行った。
- 【日時】平成28年8月20日
- 【場所】国道40号等
- 【主催】天塩川流域ミュージアムパークウェイ、宗谷シーニックバイウェイ、北海道エコ・モビリティ研究会・稚内開発建設部
- 【参加人数】9名



国道40号更喜苫内の副道を試走



北海道命名の地を視察

# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：石田先生を招いての宗谷シーニックバイウェイ  
10周年記念講演

【概要】宗谷シーニックバイウェイが指定ルートとなり、10年を迎えること記念の年として、シーニックバイウェイ審査委員の石田教授を招聘し、10周年の記念講演を行った。広域観光周ルートに認定されたこともあり、インバウンドを含めた宗谷シーニックバイウェイのあり方について学ぶことが出来た。

【日時】平成29年2月23日

【場所】稚内サンホテル 会議室

【主催】宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・ルート運営行政連絡会議

【参加人数】77名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：広域観光周遊ルート ワークショップの開催

- 【概要】今年度、「日本のでっぺん。きた北海道ルート」が広域観光周ルートとして認定されたことをきっかけに、関係する3つのシーニックバイウェイルートが中心となり、広域観光周遊ルートとしてインバウンドを推進する方策や地域のあり方についてワークショップ形式で検討を行った。
- 【日時】平成29年2月24日
- 【場所】稚内サンホテル
- 【主催】宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・萌える天北オロロンルート・天塩川流域ミュージアムパークウェイ・ルート運営行政連絡会議
- 【参加人数】30名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：石田先生の冬期資源視察

【概要】 広域観光周遊ルートにて、きた北海道の「課題」となっている冬期観光について、有識者に現地を見てもらうため、石田教授を招聘した。視察は、稚内市の犬ぞり大会の他、浜頓別町のオオワシ、豊富温泉等、宗谷地域の冬ならではの資源について視察頂き、助言を頂いた。

【日時】 平成29年2月24～26日

【場所】 稚内市・浜頓別町・豊富町

【主催】 宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・稚内開発建設部

【参加人数】 9名



# 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

*Clear Stream Scenic Byway*

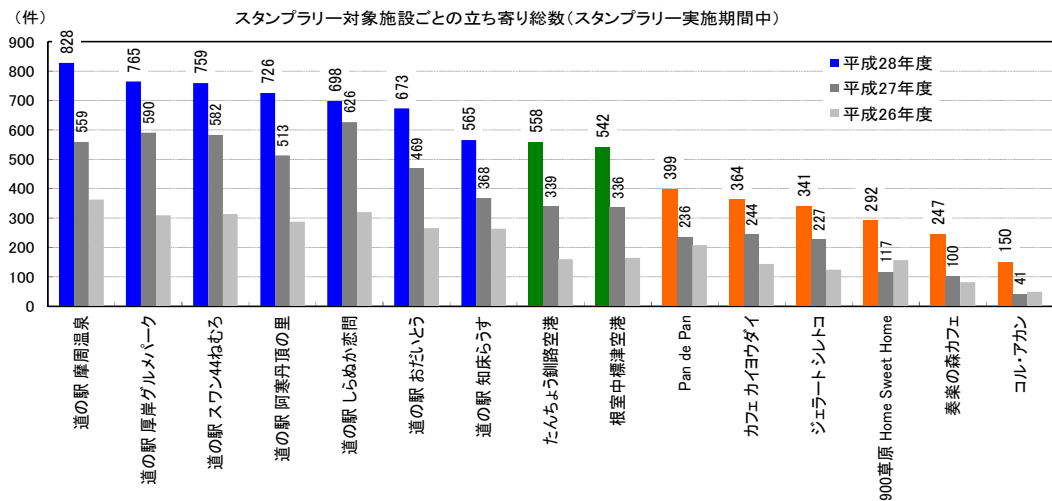
活動名：くしろ・ねむろ ぐるっと！スタンプラリーの実施（観光交流部会）

- 【概要】スタンプラリーを通じて、管内を訪れる観光客、地域住民の皆様に、ドライブ観光を楽しんで頂きながら、道の駅やシーニックカフェを巡っていただき、地域の観光振興に繋げる。
- 【日時】平成28年4月29日～平成28年10月31日
- 【場所】管内のシーニックカフェ6店舗、道の駅7箇所、たんちょう釧路空港、根室中標津空港
- 【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ シーニックカフェプロジェクト
- 【参加人数】不明（スタンプラリーへの応募者1069名）



ぐるっと！スタンプラリーの台紙

	平成28年度	(前年比)	平成27年度
スタンプラリーの応募総数	1,069件	(126%) <b>26%増</b>	851件
対象施設への立ち寄り総数	7,907件	(148%) <b>48%増</b>	5,347件
内「道の駅」への立ち寄り総数	5,014件	(135%) <b>35%増</b>	3,707件
内シーニックカフェへの立ち寄り総数	1,793件	(186%) <b>86%増</b>	965件



# 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

*Clear Stream Scenic Byway*

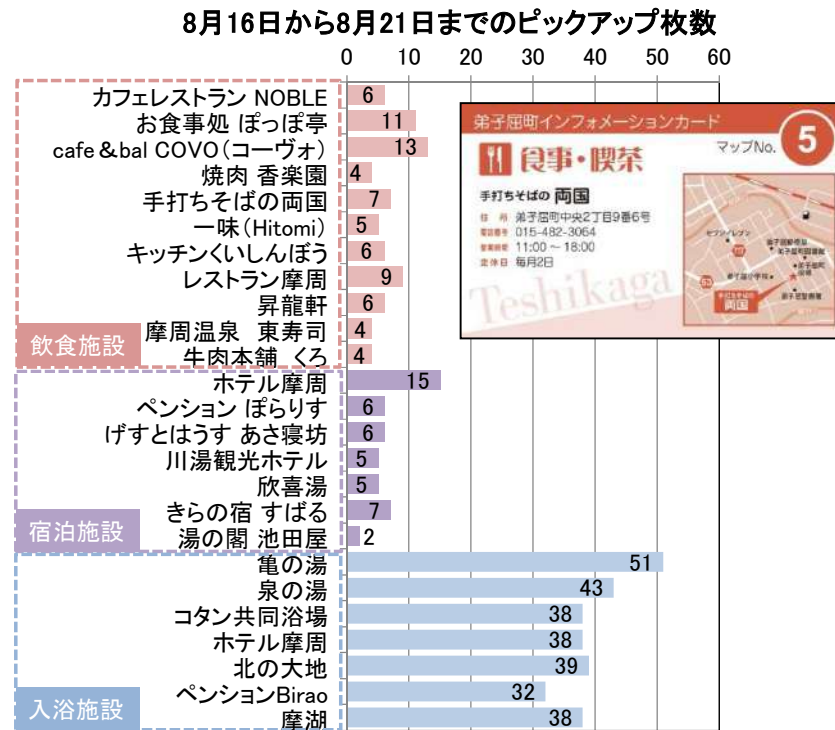
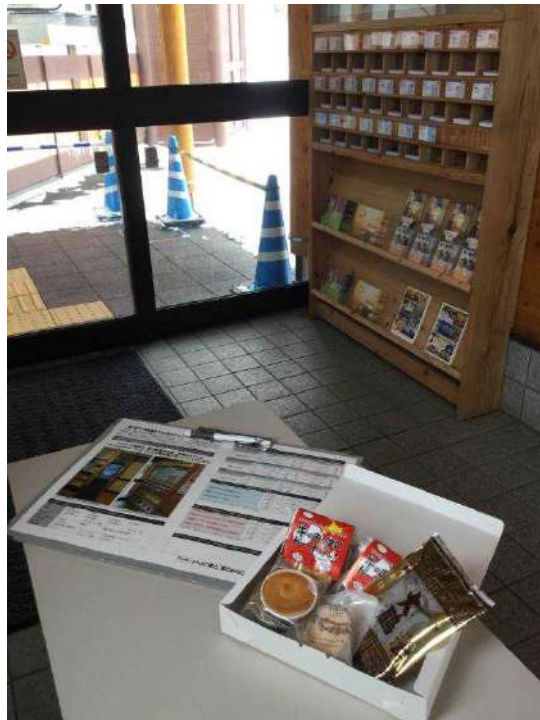
活動名：てしかが情報掲示板での地域情報の提供（運営委員会）

【概要】 夜間を含めて長期滞在者の多い「道の駅摩周温泉」において、地域手作りのアナログ情報板（てしかが情報掲示板）に入浴施設や飲食施設、宿泊施設のインフォメーションカードを置くことによって、地域情報を提供した。さらに、インフォメーションカードの配布枚数による調査、情報板についてのヒアリング調査等を実施し、利用者のニーズを分析した。

【日時】 平成28年8月16日～平成29年3月31日

【場所】 道の駅摩周温泉

【主催】 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 運営委員会





# 函館・大沼・噴火湾ルート

A-1

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニック清掃活動

- 【概要】平成20年度から始まったルート連携活動。4月29日を「シーニックの日」に制定し、国道沿線や観光地などをきれいにするおもてなしの活動を行っている。今年度は下記の3箇所で一斉に実施した。今後は、活動団体や関係機関とのさらなる連携強化を図り、活動箇所の拡大を目指す。
- 【日時】平成28年4月29日（祝）
- 【場所】五稜郭公園周辺、函館市地域交流まちづくりセンター周辺（以上、函館市）、  
田園通り・高台通り周辺（七飯町）  
※函館市縄文文化交流センターは、悪天候のため中止
- 【主催】函館・大沼・噴火湾ルート
- 【参加人数】主催者：75名、一般参加：15名



▲五稜郭タワー周辺



▲函館市地域交流まちづくりセンター周辺



▲七飯町田園通り

# 函館・大沼・噴火湾ルート

A-2

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：はこだて花かいどう

【概要】 国道や道道沿線などにお花を植栽し、ルート全体でお花によるおもてなしの活動を行っている。その中で、平成16年度から始まっている「はこだて花かいどう」では、地域の町会や小中高校生、スポーツ少年団、沿線企業、行政など、地域が一丸となって、観光客や地域住民の方々に気持ち良く走ってもらおうと活動を行っており、最近では、ミミズによる堆肥づくりといった循環型の活動も取り入れ、活動を行っている。今後は、次世代の人材育成のさらなる強化に努める。

【日時】 平成28年5月～10月

(植栽：6/11、全体維持活動：7/9、8/6、9/10、撤去：10/30)

【場所】 国道5号（函館新道）沿線 函館市石川町及び桔梗町

【主催】 函館花いっぱい道づくりの会

【参加人数】 主催者：約900名（植栽時）



▲植栽時



▲全体維持活動時



▲撤去時



# 函館・大沼・噴火湾ルート

A-3

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニックの森づくり事業  
～ススキ刈りと経過調査～

【概要】平成21年度から始まったルート連携活動。カーボンオフセットの考えを取り入れたCO<sub>2</sub>削減を主目的とし、ブナの森を蘇らせるために、付近の山から山取りした苗木を約100本植栽している。最近では、苗木に被圧がかかっているススキなどの下草刈りをメインに行っている。今後は、植樹の強化と合わせた維持管理の継続によるブナの森再生とさらなる参加者確保を目指す。

【日時】平成28年8月21日（日）、28日（日）

【場所】きじひき森林公園の森

【主催】函館・大沼・噴火湾ルート

【参加人数】主催者：10名、一般参加：50名



▲8/21活動時

▲8/28活動時

# 函館・大沼・噴火湾ルート

A-4

Hakodate-Oonuma-funkawan Route

活動名：シーニックdeナイト2017

【概要】平成18年度から始まったルート連携活動。国道や道道沿線、観光施設や公園などに、全て手作りのワックスキャンドルを並べ、ほのかで暖かな灯りが広がる。ワックスキャンドルに使用しているろうそくは、100%植物性のものを使用し環境にも配慮した活動を行っている。五稜郭公園では、少子化対策の一環としてボランティア活動に重点を置いた婚活イベントとしても実施。次年度も継続を望む声が多かったことから、実施地域の拡大や継続を目指す一方、ツアーの造成等の検討実施によるさらなる観光客の獲得を目指す。

【日時】平成29年2月4日（土）、5日（日）、11日（土）

【場所】函館市地域交流まちづくりセンター、五稜郭公園、函館市縄文文化交流センター、函館新道、はこだて朝市ひろば（以上、函館市）、オニウシ公園（森町）、噴火湾パノラマパーク（八雲町）

※大沼国定公園は、併催イベントの事故のため自粛

【主催】シーニックdeナイト2017実行委員会

【参加人数】主催者：約600名



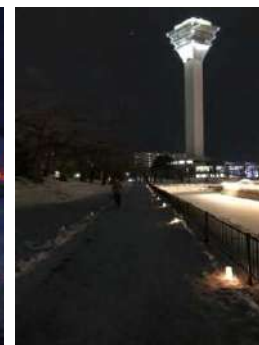
▲シーニックdeナイト  
チラシ



▲函館市縄文文化交流センター



▲噴火湾パノラマパーク



▲五稜郭公園



▲ボランティアde愛  
チラシ

# 萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：ルート内の食材を活用した『萌天焼』の開発

【概要】 候補ルートの中から続いているルート内の「食のブランド化」に向けた取組みの一環として、管内の様々な食材を具材に使ったたこ焼き「萌天焼」の開発に向けた検討を行った。今年度は、活動2年目としてひらめオーナーin遠別（遠別町）で、たこ焼きを作り、100個完売した。

昨年度の経験を活かし、具材の数や種類などを改良した。「たこ焼きの具材がいろいろあるというのは面白い」「どれも美味しい」といった声をいただくことができた。今後は、たこ焼きの具材に適した食材の検討や、将来的に地域のイベント等で様々な主体に実施してもらえるよう、PRの仕方などを検討する予定である。

【日時】 平成28年6月18日（土）

【場所】 遠別漁港（遠別町）

【主催】 萌天サポーターズクラブ

【参加人数】 活動従事者：20名 一般参加者：100名

## 萌天焼

4つの具材で8個入：

<本日の具材>

- ♪たこ（遠別町）× 2個
- ♪いか（初山別村）× 2個
- ♪えび（羽幌町）× 2個
- ♪はたて（苫前町）× 2個

500円  
(8個入)

天北オロロンルート  
萌える天北オロロンルート

萌天焼の販売用POP

### 萌天焼（もえてんやき）の定義・ルール

萌える天北オロロンルートの「食」を活かし、地域の魅力を伝える「萌天焼（もえてんやき）」とは！

定義：

萌える天北オロロンルート内の1市7町1村（幌延町、天塩町、遠別町、初山別村、羽幌町、苫前町、小平町、留萌市、増毛町）産の食材を用いたたこ焼きを「萌天焼」と称する。

ルール：

1. 食の宝庫、萌える天北オロロンルート内の食材のPRを目的とする。
2. 具材には、萌える天北オロロンルート内で生産された食材もしくは加工食品を3種類以上用いること。
3. 具材には、2種類以上、海産物もしくは畜産物を組み合わせること。
4. 当日のお品書き（食材と生産地）を明記すること。

たこ焼きのように、たこ焼きじゃない、その1個に何が入っているのかは、食べてみてのお楽しみ♪

萌天焼の紹介



萌天焼を作成している様子



販売風景

# 萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：流雪溝雪はねボランティア ツアーin苫前での情報発信

【概要】 苫前町古丹別地区で実施される「札幌発着型雪はねボランティアツアー」の実施時に、ルート内の魅力を紹介することで、点（苫前町）と点（参加者の居住地）のつながりを面的（ルート内）に展開できるよう活動協力を行った。当日は、苫前町に向かう移動途中の休憩施設でツアー参加者をお出迎えしたり、移動中のバス車内でルート内の各地を巡るWEBCMや鯉漁の歴史動画を流した。これにより、苫前町だけではなく、ルート内の魅力を伝えることが出来、また、参加者の連帯感を生むきっかけづくりとなった。今後は、休憩拠点でのさらなるPRなどが課題である。

【場所】 苫前町古丹別地区

【主催】 苫前町まちづくり企画

【協力】 萌える天北オロロンルート運営代表者会議

【日時】 平成29年2月4日（土）～5日（日）

【場所】 苫前町古丹別地区

【参加人数】 35名（地域側 18名、町外参加者 17名）



移動中のバスでルート内のWEBCM「るもいであいました」を配信



バス内の様子



休憩場所の船場公園（留萌市）でお出迎え



参加者の集合写真

# 萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：地域情報受発信プロジェクト：道の駅・シーニックカフェ+情報拠点スタンプラリー

【概要】 域内観光の活性化を促進するために、管内で最も観光客が訪れる6月4日から11月3日にかけて留萌管内「道の駅」と「萌える天北オロロンルート」が連携して、地域限定のスタンプラリーを開催。昨年から加えたシーニックカフェに情報拠点として5月に出来た「船場公園」他2つを追加した。

応募要項が変更した影響のせい、2年連続で応募者数は減少傾向にあったが、約3割は道外の方であり、道外客の周遊化に寄与していることがわかった。スタンプラリーに参加している店舗からは積極的な参加の声が聞かれた。来年度は、応募数を増やすための工夫について、検討中である。

【日時】 平成28年6月4日～11月3日

【場所】 留萌管内「道の駅」「シーニックカフェ」「情報拠点」

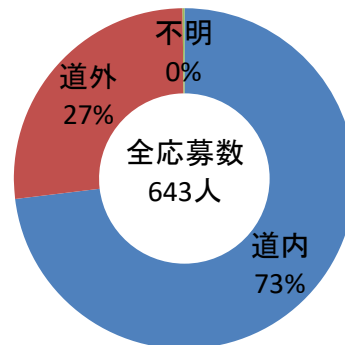
【主催】 萌える天北オロロンルート運営代表者会議（地域情報受発信システム実行委員会）

【協力】 北海道地区「道の駅」連絡会、留萌開発建設部

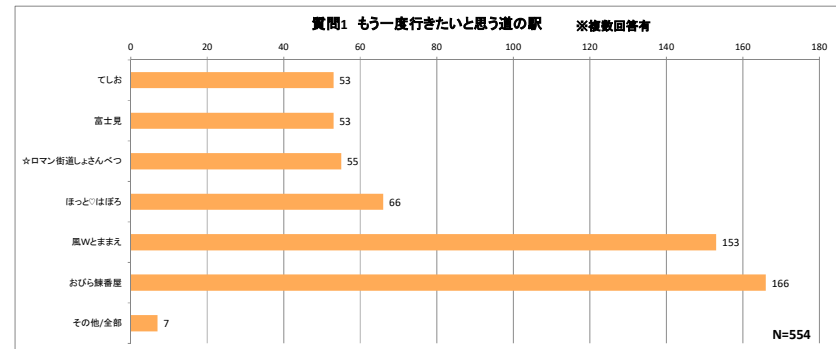
【参加人数】 643人（応募者）



スタンプラリーシート設置状況



応募者数の道内外割合



応募用紙内のアンケート結果（道の駅）

# 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：シーニックカフェスタンプラリー

- 【概要】訪れた人に楽しんでいただきながらルート内のシーニックカフェを巡っていただき、十勝平野・山麓ルートの魅力を知っていただくとともに各シーニックカフェの利用促進を図ることを目的に昨年度からルート独自で実施している。
- 【実施内容】参加施設にスタンプラリーパンフレット及びスタンプを設置し、参加者はラリー参加施設の2カ所以上のスタンプの押印で応募が可能。スタンプ押印数により景品が抽選で当たる。
- 【開催期間】平成28年6月1日（水）～10月10日（月・祝）
- 【主催】十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート
- 【参加施設】十勝平野・山麓ルート内シーニックカフェ11カ所
- 【応募人数】57名（十勝管内：23名、十勝管外：22名、北海道外：12名）

サイズ：見開きA4（観音折り）

（表）



（裏）



シーニックカフェ	市町村
ヨークシャーファーム	新得町
旧狩勝線ミュージアム&カフェ	新得町
三国峠茶屋	上士幌町
ナイタイ高原牧場レストハウス	上士幌町
カントリーパパ	鹿追町
美曼亭	清水町
カフェダイニング サルビア	清水町
土曜高原ヌブカの里	士幌町
レストランあしよ	足寄町
ソフトクリーム工房	陸別町
tomono	陸別町



# 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：イベント一覧

【概要】ルート内のイベントと各町のオススメスポットを紹介した一覧を作成し、十勝平野・山麓ルートの魅力を知っていただくとともに、ルート内周遊や再訪を促すツールとして製作・配布している。裏面にはルート内のシーニックカフェマップを掲載し、スタンプラリーと連動したPRを展開した。

【作成】平成28年4月

【発行】平成28年4月

【主催】十勝シーニックバイウェイ  
十勝平野・山麓ルート

【配布先】十勝平野・山麓ルート内道の駅、  
商工会および観光協会など

【仕様】印刷部数：6,300部  
サイズ：A3（両面）



(表)  
町のイベント一覧



(裏)  
十勝平野・山麓ルート  
シーニックカフェマップ

# 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：とがちガーデン・スイーツ・温泉チケット事業

**【概要】** 今年度で7年目の事業となる十勝の施設をお得にめぐる「とがちガーデン・スイーツ・温泉チケット」（通称：GSOチケット）を販売。1冊1,600円で最大4,100円分利用可能なチケット。観光施設、ビジネスホテル、道の駅など、道内約70か所で販売を行い、相互の施設においてPR活動を実施するほか、専用ホームページにて積極的にPRを行った。

今後も関係施設や旅行エージェントに売り込みを行って定期的な収入になるよう、販売先を広げていくと同時に、利用施設や商品の幅を増やして更に魅力あるチケットとなるよう努めていく。

**【販売・実施期間】** 平成28年4月20日（水）～10月10日（祝）

**【対応施設エリア】** 十勝シーニックバイウェイエリア

**【チケット対応施設】** 上記エリア内のガーデン、スイーツ、温泉外53施設（北の屋台20店舗含む）

**【主催】** 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

**【販売枚数】** 1,862冊（利用率83.2%）



チラシ(表面)

(チラシ中面)



(チケット)



# 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：ライフコンシェルジュ事業

【概要】 十勝の魅力・生活の楽しみを伝える「ライフコンシェルジュ」（ご当地風土アドバイザー）の育成事業。主なガイド活動としては、十勝川温泉にある「シーニックカフェ十勝が丘展望台」外へのライフコンシェルジュの派遣がある。今後も活動の場を増やすとともに、育成に力を入れる。今年度は、ライフコンシェルジュを対象とした外国人対応講習会、現地調査を実施。マップへのライフコンシェルジュのおすすめスポットを発掘し、おすすめ情報として「ライフコンシェルジュが紹介するおもてなしマップ」に反映するなど、感じる部会とライフコンシェルジュが一体となって事業に取り組んでいる。

【活動期間】 平成28年4月～平成29年3月

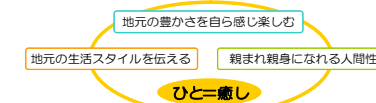
【場所】 十勝管内にて活動を実施

【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【活動状況】 ライフコンシェルジュ：42名 ガイド活動実施先は以下のとおり ライフコンシェルジュとは

- ①シーニックカフェ十勝が丘展望台（96名）／②帯広駅コンコース内「幸福駅案内所」（17名）
- ③とがちマルシェ・十勝観光案内所（12名）／④ラリー北海道2016（2名）／⑤メロディーラインカフェ（4名）
- ⑥「おびひろ昔ばなしバス周遊バス」（11名）／⑦十勝川温泉バスガイドツアー（4名）
- ⑧食と農の景勝地・視察対応（4名）⑨道東ブロック会議・現地見学会対応（2名）

**LIFE+CONCIERGE**  
十勝の魅力・生活の楽しみ方を伝える人  
ご当地風土アドバイザー



とがちマルシェ



現地調査



外国人対応講習会



意見交換会

# 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチマップ事業

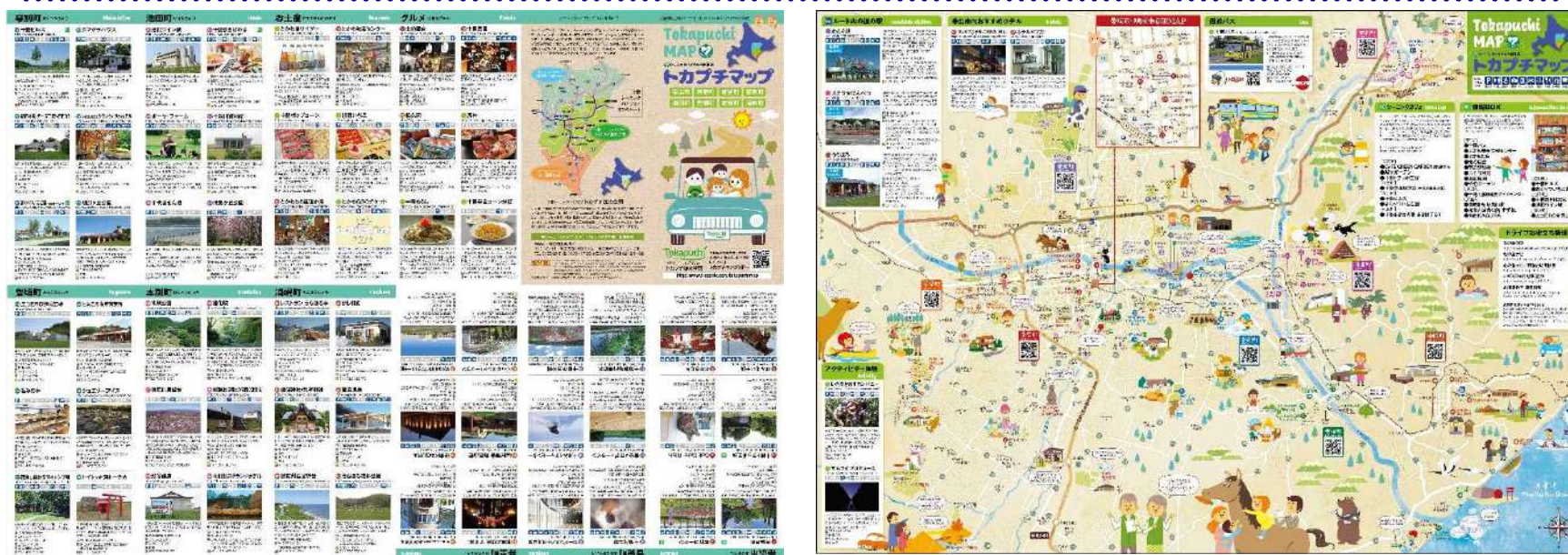
【概要】昨年度に引き続き、エリア内のおすすめドライブルートの紹介や観光PRを含めたマップを作成した。今年度はサイズ・デザイン等全面リニューアルし、内容も充実させた。引き続き観光拠点を中心に配布を行う。観光客からのマップの需要は高いことから、今後も観光プロモーションと合わせて継続する。

【発行】平成29年3月

【主催】十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【マップ仕様】印刷部数：17,000部 サイズ：A2

配布箇所：ルート団体施設ほかエリア内の観光施設、道の駅、札幌市内など



＜トカプチ雄大空間ルートMAP(案)＞

# 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

TOKACHI Scenic Byway Tokapuchi Yudaikukan

活動名：トカプチ情報ボックス事業

## 【概要】

トカプチ雄大空間エリア内の各情報拠点に設置している「トカプチ情報ボックス」にルート内施設の観光パンフレットなどを設置している。

主に観光施設に設置しており、お客様の要望も高いことから、今後も実施をしていく。

【実施時期】平成28年4月～9月

【設置箇所】17カ所（参加は19事業所）

【配達回数】6回



<トカプチ情報ボックス>

# 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：学校シーニックバイウェイ

## 【概要】

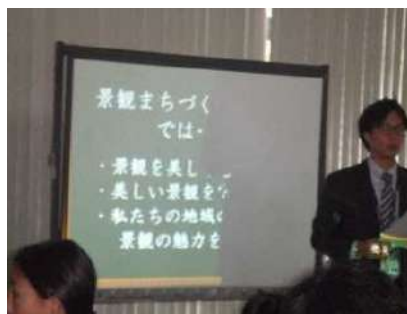
学校シーニックバイウェイは、子供達の地域を愛する気持ち、訪れる人を思う気持ちを育てるため、子供目線による地域の魅力を地域内外へ積極的に発信することを目的として、平成22年に、幕別町立忠類小学校5年生を対象に開始した。

今年度は、中札内小学校、上中札内小学校の6年生34名を対象に授業を実施した。

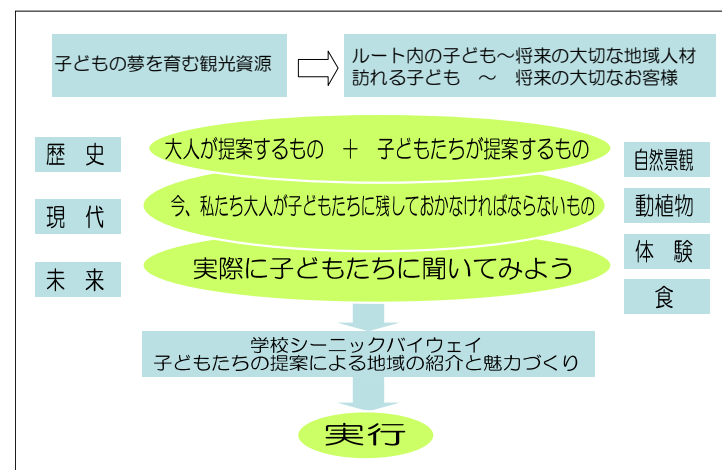
【日時】平成28年10月12日（水）

【場所】授業：中札内小学校

【主催】十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道



学校シーニックバイウェイの授業の様子



学校シーニックバイウェイの概要

# 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：フォトコンテスト & フォトコンテストカレンダー作成 & フォトコンテスト巡回作品展

## 【概要】

フォトコンテストの開催及びコンテスト入選作品から作成するフォトコンテストカレンダーの作成及び販売は候補ルート時から継続して実施している活動である。

フォトコンテストは、地域の魅力を発信しエリアに訪問して頂く機会を作るため、平成18年より実施している活動で今年度で11年目である。今年度は、昨年の応募者数80名を超える87名からの応募があり、過去最高の応募者数となった。管内だけではなく管外・道外からも多数の応募があり、フォトコンテストの取組が着実に根付いていることを実感した。

また、フォトコンテストの入賞作品の巡回作品展（5箇所：各2週間）を開催した。

フォトコンテスト及びフォトコンテストカレンダーの作成は本ルートの景観の素晴らしさを多くの方に知ってもらえる活動となっていることから、継続的に取り組む予定である。

【日時】 作品募集：平成28年6月20日（月）～9月30日（金）

カレンダー販売：平成28年11月～平成29年1月

【場所】 撮影：南十勝夢街道エリア 販売：南十勝夢街道内商工会及び道の駅、札幌市内など

【主催】 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

【参加人数】 フォトコン応募者数：87名 応募作品数：253点 カレンダー：1,500部作成



フォトコンテスト募集チラシ



2017年カレンダー



フォトコンテスト審査会



フォトコンテスト巡回作品展

# 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway MINAMITOKACHI YUMEKAIDO

活動名：シーニックカフェスタンプラリー

## 【概要】

ルート内のシーニックカフェを楽しみながらめぐっていただくと共に、訪れた方へ南十勝夢街道の景観の素晴らしさや、ルート内の魅力を知っていただくため、平成26年度からルート独自で実施している。

## 【実施内容】

ルート内のシーニックカフェ4施設にラリー台紙およびスタンプを設置し、参加者は4施設全てでスタンプを押印し、カフェ店員に提出することで応募となる。応募者全員に南十勝夢街道フォトコンテストカレンダーを送付。

【開催期間】平成28年7月15日（金）～9月30日（金）

【参加施設】シーニックカフェ 4施設

【主催】十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

【応募人数】完全性覇者：6名（十勝管内：2名、十勝管外：2名、北海道外：2名）

## 南十勝シーニックカフェスタンプラリー2016



スタンプラリー用紙（表面）



スタンプラリー用紙（裏面）  
スタンプ台紙

シーニックカフェ	自治体
道の駅さらべつ 観光と物産の館「ピポパ」	更別村
ちゅうるい (忠類共栄牧場内)	幕別町忠類
湖水地方	大樹町
広尾 (ひろおサンタランド内)	広尾町



# 札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：Photo Mobility～移動が遊びになる～

【概要】 フォトレイルラリーは、各チームで10kmから15kmを歩きながら指定された南区の場所や、テーマを撮影して点数を集めるゲーム形式イベント。札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルートでは、これまでも継続して実施しており、今年度においても、南区の細やかな魅力を知ってもらうため、歩きながら写真撮影をする「フォトレイルラリーin Sapporo」を開催した。歩きながら普段は気にすることのない景色を発見したり、地域の知らないことを知ることができ、住んでいる人、訪れた人共に楽しめるイベントとなった。チーム構成は、共催の東海大学学生と、地域の社会人5から6名で構成しており、歩きながらコミュニケーションを取ることで、一体感も生まれ異世代交流を楽しんだ。

【日時】 平成28年11月19日

【場所】 真駒内屋外競技場スタート

【主催】 Photo Mobility実行委員会

【参加人数】 30名



各チームごとに出発



指定場所で撮影



ベストシーニックフォト



記念撮影

# 札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：感動・寄り道 スタンプdeBINGOラリー2016

【概要】平成21年から継続している札幌芸術の森や滝野すすらん丘陵公園など南区内の施設を巡るスタンプラリー。指定施設20カ所のスタンプを集めると、定山溪温泉宿泊券や南区特産品などが当たる抽選に参加できる。平成28年度は“縦・横・斜め”とビンゴゲームのようにスタンプを集め、ビンゴすることに当選確率が上がる新たなルールを設定。名称も「スタンプdeビンゴラリー」へとリニューアルしたところ、応募者数1,154名（過去第2位）、全体の24%を占める278名が完全制覇した。また、道外参加者が148名と過去最多であり、スタンプ押印数も15,954個と前年を大きく上回った。

【日時】平成28年4月29日～平成28年10月31日

【場所】札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート内施設20カ所

【主催】札幌シーニックバイウェイビンゴラリー実行委員会

【参加人数】応募者数1,154名、スタンプ押印数も15,954個



スタンプラリーマップ



スタンプ設置スポット



応募用紙



# どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト①  
どうなん追分シーニック清掃活動

- 【概要】 GW道南地域に桜が咲く季節。観光客を迎えるためにGW前約2週間をシーニック清掃週間と位置づけルートで景観づくりをしている。江差町・木古内町での取組みが定着してきており、ルートとして継続的な活動となってきた。今後は、より多く一般の人や他の地域の人たちの参加を促進し活動連携による拡大を推進したい。
- 【日時】 江差町 平成28年4月17日（日）・木古内町 平成28年4月24日（日）
- 【場所】 江差町榎川駐車場周辺（R228沿い）  
木古内町サラキ岬、みそぎ浜、大釜谷駐車場、木古内の坊（R228沿い）
- 【実施団体】 江差観光コンベンション協会 ・ 木古内町観光協会
- 【参加人数】 40名（主催者30名、一般参加10名）・35名（主催者25名、一般参加10名）



江差榎川 清掃中



江差榎川 清掃後



木古内サラキ岬 清掃中

# どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト②  
木古内町サラキ岬R228沿いチューリップの植栽活動

- 【概要】 国道228号沿い木古内町サラキ岬では咸臨丸の史実の基づく観光空間づくりを行っており、オランダで作られた船であることからチューリップの植栽を行っている。5月に満開を迎えるために7月には球根の掘起し、10月には球根植えを行っており、道路景観づくり、地域づくりとして活動を推進している。
- 【日時】 チューリップフェア 平成28年5月3日～15日  
球根掘起し作業 平成28年7月31日 球根植え作業 平成28年10月29日
- 【場所】 木古内町サラキ岬
- 【主催】 咸臨丸とサラキ岬に夢みる会・木古内町観光協会
- 【参加人数】 チューリップフェア 不明（主催者50名、一般参加約1500名）  
球根掘起し 50名（主催者30名 一般参加20名）  
球根植え 90名（主催者40名 一般参加50名）



チューリップフェア5月



球根掘起し作業 7月



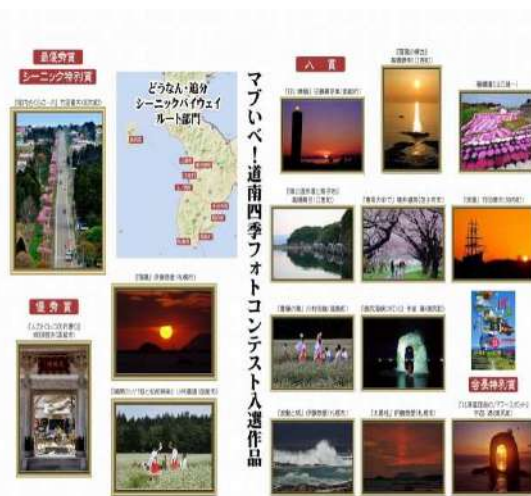
球根植え作業 10月

# どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト③  
道南エリアルート四季のフォトコンテスト

- 【概要】 函館・大沼・噴火湾ルートとの連携により、道南2市13町エリアで北海道新幹線開業に合わせ新たな景勝地の再発見として開催。178点の応募があり10名の審査員により31点の入賞作品を選出し、ルートの活動としての活用や展示会等を次年度に予定。目標を越える作品の応募があり、出展者からも今後の継続について多数要望があった。
- 【日時】 応募期間 平成28年8月1日～平成29年2月28日／審査委員会 平成29年3月17日
- 【場所】 どうなん・追分シーニックバイウエイルート9町、函館・大沼・噴火湾ルート2市4町
- 【主催】 どうなん追分シーニックバイウエイルート運営代表者会議・函館大沼噴火湾ルート運営代表者会議
- 【参加人数】 応募作品数 178点（どうなん75点・函館100点・対象外3点）



どうなん追分SBWR入賞作品



函館大沼噴火湾R入賞作品



審査委員会 3/17開催

# どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：どうなん追分シーニックdeナイトプロジェクト  
どうなん追分シーニックdeナイト

【概要】「キャンドルのあかりが繋ぐ道」をテーマに年間通して、主にイベントと併催することで沿道景観づくりの演出をしている。今年度はワックスキャンドル製作会と2月に6町同時開催を行った。エリア内でのシーニックのあかりの活動は認識が高まっており、今後も継続的に活動を実施し、更なるシーニック活動の周知・拡大を目指す。

- キャンドル製作会【日時】平成28年12月18日（日）【場所】木古内保育園【主催】どうなん追分SBW運営代表者会議  
【参加人数】90名（主催者40名 一般参加50名）
- 上ノ国町キャンドル点灯式【日時】平成28年12月24日（土）【場所】道の駅上ノ国もんじゅ【主催】上ノ国町観光協会ほか  
【参加人数】100名（主催者20名 一般参加80名）
- 木古内町みそぎキャンドル【日時】平成29年1月14日（土）【場所】佐女川神社・木古内駅前【主催】木古内町観光協会他  
【参加人数】440名（主催者40名 一般参加400名）
- 6町同時開催【日時】平成29年2月18日（土）【場所】道の駅あっさぶ・奥尻島観光協会・江差追分会館  
道の駅上ノ国もんじゅ・道の駅北前船松前・道の駅みそぎの郷きこない【主催】どうなん追分SBW運営代表者会議  
【参加人数】175名（主催者30名 一般参加145名）



キャンドル製作会



木古内みそぎキャンドル



6町同時開催 奥尻町

# どうなん・追分シーニックバイウエイルート

*Donan-Oiwake Scenic Byway Route*

活動名：どうなんフットパスロードプロジェクト  
殿様街道探訪ウォーク

【概要】 継続事業として第20回春・第21回秋の殿様街道探訪ウォークを開催。毎回テーマや松前神楽の演目を変えているためリピーターも多い。また、昼食の千軒十割そばはここでしか味わえない一品。上ノ国町では「天の川と戦国時代の山城を訪ねる道」が新日本歩く道紀行100選に指定になるなど、今後、歴史好きの新たな層へのPRも検討。

【日時】 春：平成28年5月1日（日） 秋：平成28年10月23日（日）

【場所】 福島町千軒岳

【主催】 福島町千軒地域活性化実行委員会・福島町観光協会

【参加人数】 春：95名（主催者40名、一般参加55名）

秋：75名（主催者40名、一般参加35名）



殿様街道探訪ウォーク 春



殿様街道探訪ウォーク 秋



松前神楽奏上（毎回演目別）

# どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：おもてなしガイドプロジェクト  
学習会

【概要】 ルート活動の充実を図るため学習会を定期的実施しているところ、地域のイベントに外国人が参加する等、今後、増加傾向にある事について、第13回学習会では「おもてなしガイドと教育体験観光の各地の現状」を各町の代表が発表し、意見交換、取りまとめを行い、今後の連携、方策についての基礎作りとした。

第14回学習会では「外国人観光客の受入について」北海道運輸局函館運輸支局首席専門官村上氏より講演、説明をして頂き、各地域で行政等の資料を活用する対応策について意見交換をした。

- 第13回学習会 【日時】平成28年6月16日 【場所】松前町公民館 【主催】当ルート  
【参加人数】28名
- 第14回学習会 【日時】平成28年11月30日 【場所】木古内商工会 【主催】当ルート  
【参加人数】39名



江差町花嫁行列に参加する外国人



第13回学習会



第14回学習会



# どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：教育体験観光呼び込みプロジェクト  
いにしえ街道のとりくみ

【概要】江差町いにしえ街道では景観と文化を活かした「花嫁行列」や「江差北前のひな語り」等体験型観光・イベントづくりを行っている。多様な試みを行っている中、今年度の人気は着物を着付けて街歩きやイベント参加をするもので、街並みの歴史・文化を体感できる。その他、職人技術を活かした木工体験等、街の個性を活かしたとりくみの広がりを見せている。

■江差いにしえ街道花嫁行列【日時】平成28年5月3日（火）【場所】江差いにしえ街道

【主催】歴まち商店街協同組合ほか 【参加人数】3050名（主催者50名、一般参加3000名）

■江差北前のひな語り【日時】平成29年2月4日～3月20日【場所】江差いにしえ街道・江差一円

【主催】歴まち商店街協同組合ほか 【参加人数】1600名（主催者200名、一般参加1400名）



江差いにしえ街道花嫁行列



江差北前のひな語り



着物着付けでイベント参加